

## 尾道市立大学の理念

# 「知と美」の探究と創造

尾道市は、古くから瀬戸内の要衝として経済的な発展を遂げるなかで、美しい風光を背にすぐれた芸術文化を生み出し継承してきました。このような尾道の地の特性を生かして設立された尾道市立大学は、経済情報学部と芸術文化学部の2学部をもち、芸術文化学部には日本文学科と美術学科の2学科をおく公立大学です。

尾道市立大学は、このような学部・学科構成の特徴を生かしつつ、人と情報が集まって「知と美」を探究する場、そのなかで新たな「知と美」を創造しその成果を社会に発信する場、そして学問と人間的触れ合いを通じて有為な人材を育成する場となることによって、学術・文化の向上と社会の発展に貢献します。



学長  
藤沢 毅

尾道市立大学のキャンパスは尾道駅から少し離れた久山田という静かな町にあります。目の前に水源地が広がり、水面に校舎が美しく映ります。本学は2学部3学科で構成され、一学年定員は300人ちょっとですので、けっして大きな規模の大学ではありません。しかし、だからこそ、静かな落ち着いた環境で、しっかりとした学修ができるはずです。

その一方で、学生たちには積極的に尾道の街に出ることを勧めています。尾道という街は、観光都市としての魅力があり、国内からだけでなく、海外からも観光客が訪れる街です。古くから商業都市として栄えてきたという歴史と文化が残っており、たくさんある神社仏閣を巡ってみれば、いつも新しい発見があります。尾道ラーメンが有名ですが、それだけではなく、お洒落な新しい店も次々に生まれており、休日になると若い世代の訪問者が多くあります。旧市街地だけでなく、例えば向島、因島、瀬戸田などに足を伸ばしてみてもいいでしょう。学科やゼミ単位でも、尾道の街を歩き、尾道の人と触れあう機会を設けております。

小規模の大学ということもあって、教員と学生との関係も近く、双方向性の授業の展開を心掛けております。さらに、学生たちの自主的な学びに応じて、教員が授業とは別に指導に当たることもあり、学びたいという学生の声に応え

る体制は整っております。

高校生の皆さんには、ぜひ、いろいろな大学を調べ、比べてみてください。そして、大学生活を楽しく充実したものにするために、自分の本当に学びたいことを定めて志望大学を決めてほしいと思います。あなたが選んでくれたのが本学であれば、大変嬉しく思います。

学長による大学紹介動画はこちら



副学長  
荒井 貴史

ありきたりの表現ですが、人生は選択の連続です。人の一生の時間は有限であり、その他の時間以外の制約等からも、すべての選択肢をひとつひとつ取っていくことはできないでしょう。一つ選択をすることは、取らなかったその他の選択肢を捨てる(犠牲にすること)になります。犠牲にした選択肢の最大価値が、いわゆる機会費用です。本学に入学する学生の皆さんは、大学進学を選択しますので、大学進学せずに就職して得られる所得を犠牲にすることになります。4年間大学で学びますから、就職して働いた場合の4年間で得られる所得を犠牲にして、大学で学ぶ選択をすることになります。大学で学ぶ費用は、授業料等に加えて機会費用を考慮すると相当な金額になります。異論はあるかもしれませんが、これを教育投資と捉えますと、大学での学びから期待されるリターンがより大きければ、合理的な選択ということになります。本学の各学位プログラムにおける教育カリキュラムは、学問の探究という非金銭的価値も含めて、大学教育における皆様のリターンのご期待に応えられるように整えております。また、各学部・学科・課程ごとに、自己点検・評価を実施して、教育の「質」保証と改善に常に努めております。



副学長  
信木 伸一

これからの世界では、既存の知識や技能の習得だけでなく、問題を発見したり、新しい考え方や発想で問題を検討したり、知識や技能を組み合わせて問題解決の方法を考えたりする思考力が必要です。また、複雑な問題に対処したり、新しいものを創造したりしていくには、他者と情報や思考を共有するための表現力や他者と協働する力も必要です。こうした「単なる知識や技術の習得を越えた、行動特性や態度まで含めた様々な心理的・社会的なリソースを活用して、複雑な課題に対応することができる力」をコンピテンシーと言います。OECDは、個人の人生の成功と良好な社会の形成の両方を達成する鍵となるキー・コンピテンシーを3つのカテゴリーで策定しています。その一つ目のカテゴリー「言語・シンボル・テキスト、知識や情報、テクノロジーを相互作用的に活用する能力」は、探求的な学修活動や創造的な学修活動を行う中で獲得を目指すことができます。二つ目のカテゴリー「他人との円滑な人間関係を構築する能力、チームを組んで協働する能力、利害の対立を調整し解決する能力」は、協働的な学修活動の他、ボランティア活動や部活動の中で獲得を目指すことができます。三つ目のカテゴリー「大局的に構想する能力、人生設計や個人の計画を作り実行する能力、自らの権利・利害・責任・限界・ニーズを表明する能力」は、キャリア設計や自己分析を通して自分の生き方を見つめ、やりたいことにチャレンジする中で獲得を目指すことができます。本学で学びながら、こうした資質・能力を培っていただきたいと思います。

## <教育：培う尾道市立大学>

尾道市立大学は、専門分野における確かな知識と能力、そして豊かな教養と広い視野をもち、地域社会および国際社会に貢献し得る人材を育成します。このため、本学の特色である少人数教育の利点を生かしつつ、「教学半」(教うるは学ぶの半ば)の精神のもと、教員と学生が人間の触れ合いのなかで共に学び、「知と美」に対する強い好奇心と探究心、しっかりした基礎学力と高い専門能力、そして豊かな人間性を培う教育を実践します。

## <研究：拓く尾道市立大学>

尾道市立大学は、実り豊かな教育には不断の研究とそれによって培われた基盤が必要であるとの考え方にもとづいて、新しい「知と美」の地平を切り拓く独創的な研究を目指します。このため、すべての構成員が対等の立場で相互に協調し啓発し合い、異分野間の協働および外部組織との連携を積極的に進めながら、「知と美」の創造へ向けた学術研究を実践します。

## <社会貢献：活かす尾道市立大学>

尾道市立大学は、教育と研究を通して培い拓いた「知と美」の成果を絶えず外部に発信することによって、それらが社会に活かされることを目指し、社会からの信頼と期待に応えていきます。このため、地域社会との連携を図りつつ、世界的視野をもって教育研究に取り組み、有為な人材を社会に送り出すとともに独創的な研究成果を国内外に向けて発信します。また、国際交流や留学生教育などにより、大学の国際化を積極的に推進します。

## 入学者の受け入れの方針(アドミッション・ポリシー)

### 教育の理念・目的と求める学生像

尾道市立大学の教育は、専門の学芸と幅広い教養を身につけ、知的能力および豊かな人間性を発揮できる人材を育成すること、また、地域社会との連携・交流を重視し、広く地域に開かれた大学として芸術文化の向上と産業の活性化に貢献できる人材を養成することを目的としています。卒業認定・学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)及び教育課程編成・実施の方針(カリキュラム・ポリシー)に定める教育を受けることのできる者として、次のような人の入学を受け入れます。

[知識・技能] [思考力・判断力・表現力]

- ・学問や芸術を学ぶことを通じて、豊かな心と幅広い視野を持ちたいと願う人
- ・知と美に対する探究心と創造意欲のある人
- ・専門的知識・技能を身につけ、地域社会や国際社会に貢献したい人

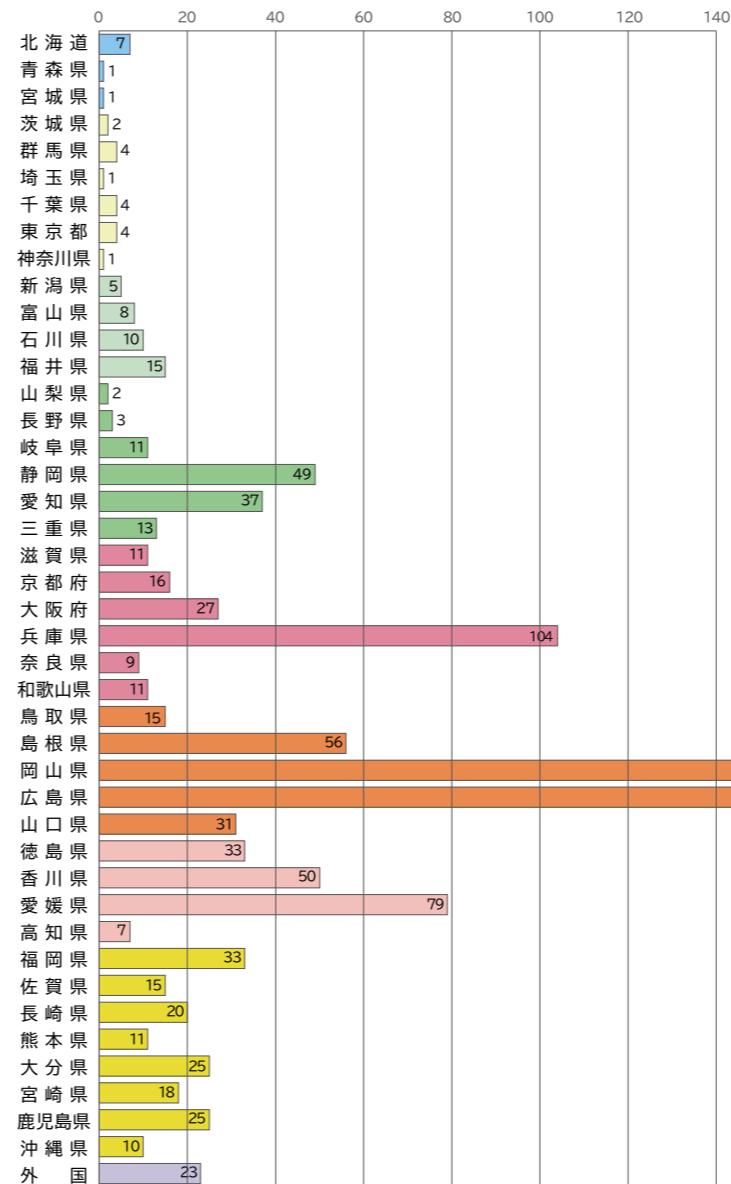
[主体性・多様性・協働性]

- ・何事にも好奇心をもって積極的に挑戦し、自己の目標に向かって不断の努力をする人
- ・主体性をもって多様な人々と協働して学ぶ人

各学部・学科では、これらに関連する入学前の能力や適性について、それぞれのディプロマ・ポリシー及びカリキュラム・ポリシーをふまえ、多面的・総合的に評価し、入学者の選抜を行います。



## 出身地別在籍者数(学部生) 在籍者数 学部生 1,399人



## 2023年度尾道市立大学入学試験結果

学部				
<b>●学校推薦型選抜</b>				
学部・学科	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数
経済情報学部 経済情報学科	70	134	134	72
芸術文化学部	日本文学科	15	25	16
	美術学科	12	63	13
計	97	222	222	101
<b>●一般選抜 前期日程</b>				
学部・学科	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数
経済情報学部 経済情報学科	100	352	294	161
芸術文化学部	日本文学科	30	67	58
	美術学科	23	71	70
計	153	490	422	227
<b>●一般選抜 後期日程</b>				
学部・学科	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数
経済情報学部	経済情報学科 Aコース	15	332	107
	経済情報学科 Bコース	15	286	81
	合計	30	618	188
芸術文化学部	日本文学科	5	67	17
	美術学科	15	120	67
計	50	805	272	92
<b>●私費外国人留学生選抜</b>				
学部・学科	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数
経済情報学部 経済情報学科	若干名	2	2	1
芸術文化学部	日本文学科	若干名	2	1
	美術学科	若干名	1	1
<b>●第3年次編入学試験</b>				
学部・学科	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数
経済情報学部 経済情報学科	若干名	3	3	0
芸術文化学部 美術学科	若干名	5	5	3
<b>大学院</b>				
研究科・専攻	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数
経済情報研究科 経済情報専攻	8	2	2	2
日本文学研究科 日本文学専攻	6	1	1	1
美術研究科 美術専攻	12	10	10	9
計	26	13	13	12

教養教育科目

教養教育科目は、多彩な講師陣、様々なジャンルの講義により幅広い視野と知識が得られるように構成されています。

地域・キャリア系科目

尾道学入門/地域の伝統文化(囲碁)/キャリア形成入門/キャリア形成演習/インターンシップ

人文学科科目

人生の哲学/生命倫理/論理学/東洋思想/心理学入門/日本の文学/文章表現法(学術的文章)/文章表現法(実用的文章)/美術表現入門/美術の歴史と鑑賞/演劇の歴史と鑑賞/文化財学/思考とデザイン/Topics in Language, Culture, and Society/日本文化史(経済情報)/瀬戸内文化論(経済情報)/民俗学I(美術)/民俗学II(美術)/メディアグラフィックス概論(日本文学)/編集とデザイン(日本文学)

社会科学科目

現代社会と人間行動/法学概論/日本国憲法/世界歴史の流れ/日本歴史の流れ/政治学入門/社会思想史/現代の経済学/社会保障入門/社会学入門/メディア論/文化社会学/民法入門/簿記入門(芸術文化)/ファイナンシャル・プランニング(芸術文化)

自然科学科目

教養数学/物理学入門/地球と宇宙/物質の世界/生物学入門/科学技術の進歩/情報科学入門/建築環境論/数学の基礎と歴史/情報と倫理(芸術文化)/統計学I(芸術文化)/人間工学概論(経済情報・日本文学)/数理・データサイエンス・AI入門

健康スポーツ科目

健康スポーツ学/健康スポーツ実習I/健康スポーツ実習II/野外スポーツ実習

外国語科目

総合英語I/総合英語II/TOEIC I/TOEIC II/応用英語I/応用英語II/上級英語I/上級英語II/ドイツ語I/ドイツ語II/フランス語I/フランス語II/中国語I/中国語II/日本語I/日本語II/海外語学実践I/海外語学実践II

Table with columns for 経済情報学部 (Economic Information Studies) and rows for 専門基礎科目, 共通専門科目, 演習, 経済系, 経営系, 情報系, 職業指導系.

Table with columns for 日本文学系 (Japanese Literature) and 美術学系 (Art Studies) and rows for 学部共通科目, 日本文学系, 日本語学系, 中国欧米文学, 関連科目, 演習・卒論, 学部共通科目, 専門基幹科目, 基礎造形科目, 日本画, 油画, デザイン, 関連科目.

## Campus Life



キャンパスライフ

有意義な学生生活のための  
さまざまな支援制度を備えています。

## 奨学金制度

日本学生支援機構および尾道市立大学奨学会等の奨学金制度を設けています。また、民間企業や地方公共団体等による奨学金の案内がありますので、随時お知らせしています。

## ●日本学生支援機構奨学金

- ・給付奨学金
- ・第一種奨学金(無利子) ・第二種奨学金(有利子)

## ●尾道市立大学奨学会奨学金

無利子貸与 月額30,000円(若干名)

## ●尾道市立大学成績優秀学生奨学金

本学における学業成績が特に優秀であると認められた学部生に対して、学習意欲の更なる向上を目的として、年額100,000円を給付する奨学金制度を設けています。

## 授業料減免制度

経済的理由や風水害等の災害を受けたことなどにより、授業料の納付が困難な学業成績が良好な学生に対する経済的支援として、授業料減免制度があります。

## チューター制度

指導教員(チューター)を中心に経済情報学科では10人程度、日本文学科・美術学科では5人程度のグループをつくり、同級生や先輩・後輩との絆を深めていく制度です。チューターはグループの学生の相談相手になり、またグループの学生と一緒にレクリエーションを楽しむこともあります。

資格取得支援講座及び資格取得者に対する  
奨励金給付制度

公務員受験対策講座、情報技術資格対策講座等の課外講座を開講し、学生の進路支援、就職活動に向けた実力を養成しています。また、独力で資格等を取った学生に対し、奨励金を給付する制度もあります。

## オフィスアワー

学業その他の相談を受けるため、全教員がそれぞれ日時を決めて、研究室で待機しています。

## 学生相談(カウンセリング)・健康相談

自宅から離れた新しい暮らしや通学環境の変化など日常生活上の悩み、大学での人間関係の悩み、精神面や身体面での心配事について、医務室職員やカウンセラーに相談できます。また、公認心理師/臨床心理士によるカウンセリングを受けることができます。

## 下宿等について

尾道市内には学生向けのワンルームマンション、アパートや寮があります。また、本学の周辺には食事付きの学生寮もあります。これらはすべて民間経営です。希望者には、アパート等の資料をお渡ししています。

## その他

学生または学生で構成する団体が、スポーツ・文化・社会貢献等の各分野の活動において、特にすぐれた成果を挙げた場合、学長からの表彰があります。

経済情報学科3年

日高 咲希

宮崎県立日南高等学校 出身



## 1:なぜ本学を選んだのか

大学選択の際、将来就きたい職業が漠然としていたため、就職に強い経済系の学部を選択しようと考えたことがきっかけでした。それに加え、本学では経済経営・情報と、幅広い分野を学べるという点が本学を選んだ理由です。

## 2:どんな勉強をしているか

企業や政府、家計などから見た「お金」の動きに関することを勉強しています。例えば、財政学では道路の整備や消費税の課税など、経済における政府の役割について学ぶことができます。そのほかにも民法、企業法、商法等、経営をすすめるうえで知っておくべき法律のことも知ることができます。

## 3:所属するゼミで何を学ぶか

私は国際経営に関する研究を行うゼミに所属しています。そこでは、日本だけでなく、海外でも通用する経営戦略を学んでいきます。例えば、産地は海外でも消費される地域は国内である、といったような場合に、安定的なサプライチェーンをどのように構築しているかを勉強します。

## 4:これからの大学生活に向けて

本学は、教員と学生の距離が近いので、講義や趣味などに関する自分の意見や質問などを伝えやすい環境です。そうした過程を踏まえて、自身の興味のあるものを絞り、国際経営に関連する卒業研究につなげていけたら良いと考えています。

一週間のスケジュール					
時間割	月	火	水	木	金
1限		民法入門		心理学入門	
2限	文章表現法入門	民法	健康スポーツ実習II	生物科学入門	マクロ経済学I
3限	財政学I			経済情報論	金融論I
4限			TOEIC I		ミクロ経済学I
5限		経済史			

● 月・木曜日の放課後は運動系の部活動に参加しています。それ以外は週4日のペースで飲食店でアルバイトをしています。アルバイトは、部活で知り合った先輩から誘っていただいたため、気軽に質問をしたり、大変なことを共有したりと、楽しみながら働いています。

※2年次(2022年度)前期の時間割です。

今まで習ってきた日本の歴史の裏側では、どのようなお金・政治の動きがあり、それには政府のどのような思惑があったのかということを知ることができました。明治時代の経済的問題を中心にして政治・国際・文化的な問題についても学びました。

学芸員になるためには履修しなければならない授業です。博物館における教育や学びはどのようなものであるかを校外学習も踏まえながら楽しく学びます。

この授業では文学理論という、文学を読み解いていく上で多角的な視点を与えてくれる理論と実践を学びます。文学理論を学ぶことで、文学が様々な読解の可能性を持つものだとも体感できます。

日本文学科4年

水野 皓斗

長野県蘇南高等学校 出身



私が日本文学科を志望したのは、『徒然草』といった中世文学に興味があったからです。卒業論文は近現代の作家・石川淳の作品で書いています。一見、中世と近現代では全く違うように思われますが、そのようなことはありません。

石川淳『鳴神』は1954年発表で、その当時の社会が描かれています。しかし、作品設定には近世の歌舞伎『鳴神』が踏まえられており、さらに歌舞伎『鳴神』は中世の能『一角仙人』などを基につくられています。近現代でも、実は中世から続く文学の流れを受けていることがあります。ちなみに、『一角仙人』の源流はインドの仏典にまで遡ります。

このように、文学はどの時代の作品を取り上げたとしても、それ以前の文学から影響を受けており、つながっていることがわかります。日本文学科では古典から近現代の文学、さらに文学と関りの深い美術や歴史についても学ぶことができます。広い視点をもって文学の流れについて考える楽しさは唯一無二です。

一週間のスケジュール					
時間割	月	火	水	木	金
1限	日本美術史II	健康スポーツ学	日本文学講読V(近現代)	博物館教育論	生涯学習概論
2限				TOEICII	伝承文学専門演習b
3限		日本語学講義II(現代語)	中世文学専門演習b		
4限					
5限	博物館資料保存論		日本文学講読II(中古)		

● 余暇の過ごし方  
平日は授業や課題に専念したいため、基本的に土日にアルバイトを行っています。アルバイトのない休みの日には、図書館でゆっくり読書することや、行きつけの古本屋や喫茶店に行くことが多いです。

※2年次(2021年度)後期の時間割です。

美術学科4年

## 田川 俊介

私は美術学科・油画コースへと、短期大学卒業後に三年次編入してきました。編入先に本学を選択した事には、大学周辺の静かな環境、学生の作品が多彩であったこと等の理由があります。作品の多彩さについては、先生方の多様な作品スタイルと、学生が制作で用いている表現方法に対する寛容さによって、促進されているように感じています。学年の節目に全学年共同で講評会があり、そこでは学年を超えたディスカッションが行われ、制作へのモチベーションと、普段得る機会の少ないプレゼン経験を得ることができました。普段の生活では多くの時間を大学のアトリエで過ごし、授業外は翠明館という学生の自主学習利用を主とした施設を利用しているため、ライフスタイルにあわせて大学付近に下宿しています。入学し一年経ちますが、心配していた大学近辺の生活利便施設の乏しさも、大きな障壁にはならず、むしろ集中して制作・勉強に臨んでいます。

長崎県立長崎工業高等学校 出身



オヤマノカフェ(学生食堂)

オヤマノ定食 オムライス  
タコライス アイスクリーム

この演習授業では、版画の基本的な技術を学ぶことができます。履修した後、自主制作でも版画工房が使えるようになります。

## 一週間のスケジュール

時間割	月	火	水	木	金
1限	版画制作演習	健康スポーツ学			
2限	版画制作演習		美学	日本文化史	健康スポーツ実習I
3限					
4限	総合英語II				
5限	情報機能論				

## 実習

専門で美術を学ぶので実習の時間が大きいです。様々な試行錯誤をしながら制作に時間をしっかり費やすことができます。アトリエの使用は、基本18:00までですが、届出で20:00まで使用できます。

## ● 余暇の過ごし方

読書や調べ物をしたりしています。基本的には悩み事を解決するべく、考え事に耽っていることが多いです。どうしても気分をリフレッシュしたい!というときには、市街地に出掛けて、行きつけの飲食店や、気になるお店に行きます。もうダメだ、となってしまったら、水源地のほとりで呆けています。

※3年次(2022年度)後期の時間割です。



ニューヤマザキデイリーストア



ウエダ画房

尾道市立大学にはさまざまなクラブ、サークルや同好会があり、文化系からスポーツ系まで幅広いジャンルが存在します。



### クラブ・サークル、同好会一覧表

●部活動	アウトドア部 硬式テニス部 硬式野球部 サイクリング部 サッカー部 柔道部	セパタクロール部 ソフトテニス部 ソフトボール部 卓球部 ダンス部 軟式野球部	バスケットボール部 (女子) バスケットボール部 (男子) バレーボール部 (女子) バレーボール部 (男子) バドミントン部 ハンドボール部	男子フットサル部 女子フットサル部 陸上競技部
	●文化系	学友会執行委員会 翠郷祭実行委員会	アカペラ部 裏千家茶道部	映画研究部 演劇部
			軽音楽部 ゴミ部	



●同好会	写真部 吹奏楽部	推理小説研究部 陶芸部	ひかりアート研究部 美術史研究会	文芸部 ラテン部
	朝活同好会 おの100同好会 考えるカラス団333同好会	シグマソサエティ同好会 天体観測同好会 ドローン同好会	ねこ同好会 平成文藝談話会 ボクシング同好会	マジック同好会 漫画研究同好会